



“石花” コスモス



“石花” ダリア



“石花” ハイビスカス

宝のまち「長島」

発想を切り替えて自然と調和

鹿児島県長島町建設課

地域の概要

本町は鹿児島県の最北端の町として薩摩半島の北西部に位置し、四方を東シナ海、八代海、長島海峡などの海に囲まれ、島の一部は雲仙天草国立公園に指定されるなど豊かな自然に恵まれた地域です。

町内は、長島本島(90.57km²)、伊唐島(3.73km²)、諸浦島(3.87km²)、獅子島(17.04km²)の有人などのほか大小23の島々が点在し、総面積は116.12km²あります。

昭和49年4月には、黒之瀬戸大橋の開通により阿久根市と結ばれ、長島本島は離島から半島化しました。伊唐島と諸浦島はそれぞれ伊唐大橋と乳之瀬橋で長島本島とつながっており、現在は獅子島だけが有人離島で、離島振興地域に指定されています。山岳は長島本島のほぼ中央部に行人岳と獅子島には七郎山があり、風光明媚な海岸には多くの海水浴で賑わう小浜海水浴場と松ヶ平海水浴場があります。

このほか、平成24年度からは、町内に多くある自然石を使った「石積み花壇」と、景観に配慮した「石張り」や「石花(いしばな)」を長島一周に整備しています。そこには四季折々の花ばなやツワブキ、スイセンが植栽され、町内外から多くの観光客が増えるとともに、癒しスポットのドライブコースとなっています。



位置図



黒之瀬戸大橋と渦潮



長島町特産品の一例



風車周辺から天草までを望む

資源の宝庫とリサイクル

長島町では天然石があらゆるところで出土され、丸石や平石など形、大きさはさまざまです。そして、先人のかたがたはこの石を使用し、農地や宅地、暴風垣などづくり、知恵と汗の結晶で歴史をつないできました。

現在は、公共工事に関すれば直径が30cmを超えるものは盛土材として転用ができないことと、島内に砕石工場もないため最終処分（埋立処分）することしかできません。また、地域的に平石状な天然石が多く排出されるため、盛土材として使用する場合施工性に劣ることから、土木工事や建築工事、土地の造成工事の掘削土より排出される天然石は、宝としての価値はあまりなく、発想を切り替えるまでは処分に困っていました。

そこで、平成19年度から天然石を埋立処分するのではなく、石積み花壇と平石を法面の保護材として再利用する事業が計画されました。この事業では、さまざまな経済効果や雇用対策、今後の課題となっている維持管理の削減効果となり、最終処分量の縮減に大きく貢献できています。



風光明媚な海岸線



平石の出土状況と先人の石積み

「長島ぐるっと一周事業紹介」

① 景観整備事業

長島町では島内を一周できる国道・県道・町道で「石積みと花の町」をテーマに、平成19年度から景観に配慮し天然石を使用した花壇整備「長島ぐるっと一周景観整備事業」を実施しています。

平成24年度から、天然石のリサイクルや車両の走行安全性、維持管理の容易さなどを目的に、天然石を使った法面保護の事業を行い、実施面積は平成28年度までに4,075m、面積で6,520m²を実施しています。なお、この取り組みが評価され、平成27年度に「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 国土交通大臣賞」を受賞しました。



② フラワーロード事業

町内各地には、景観整備事業（緊急雇用促進事業と町単独事業などを活用）で設置した、14kmに及ぶ石積み花壇があります。

この石積み花壇は、NPO法人、企業などの各種団体、役場各課によるボランティアで管理が行なわれ、平成28年度現在81団体が参加し、四季さまざまな花を楽しんでいます。苗については、町内の二つのNPO法人と直営により、年間22万本を育苗しています。またこれには、植栽や維持管理などが必要なことから、町内での雇用も生まれ、大いに地域と密着した事業となっています。

このほか、町外の企業による年1回ボランティア植栽（夏季）があります。これは、秋にあわせ町内一周の国・県道沿いにケイトウ花を植栽し、沿道を赤一色で覆おうと実施しています。ボランティアのかたがたは、自分らで植えたことから関心があり、活動後も開花まで何度も足を運ぶとともにサポーターとして根付いてきています。

これらの事業から「花の町」をPRするため、春は「花フェスタ」が開催され、多くの来場者が訪れています。会場内では長島の特産品販売や、豊かな大地から恩恵を受けた鹿児島ブランド産地の指定を受けている「赤土バレイショ」の掘り取り体験も行われ、イベントは活性化の一つととらえています。

週末や連休にはドライブコースとして定着し、ツーリングやサイクリング、このほか親子連れでの釣りなど多くの観光客が増加しています。



景観管理団体の石積み花壇



沿線脇の石積み花壇に咲くハナビシソウ



ボランティア状況

③ 緑化事業

景観整備事業やフラワーロード事業で設置した花壇や法面を活かして、ツワブキの植栽を行っています。

このツワブキは、秋になると黄色い花をたくさん咲かせるだけでなく、食材としても活用できます。また、年間を通して葉が茂っていることから雑草の繁殖を抑え、除草対策にも役立ち、“一石三鳥”となっております。

また、ツワブキの苗も咲いた花からの種で、町内の育苗農家に委託しています。試行錯誤でしたが、安定した長島産の苗が育つようになり、町内全てをまかなえるようになりました。

しかしながら困った点もあり、春先の新芽を食用とされるかたが、未熟な根から全てを持ち帰ったり、抜けたまま放置している箇所もあります。そこで、沿道で採取されているかたがいるときはモラルとマナーを守っていただけるようみんなで声掛けも行っています。今後は安全で気軽に持ち帰れるようなゾーンの指定と農園も必要と考え、現在育苗に取り組んでいます。



石積み花壇とツワブキの花



咲き誇るツワブキの花

④ 百花百輪（せっかひゃくりん）事業

島内を一周できる国道・県道・町道や公共施設などを中心に、リサイクルした天然石で作る“石花”を製作しています。

直径1mのものから7mもあるものまで花の種類はさまざま、平成28年度末では46輪設置され、目標は100輪を目指しています。

この“石花”をつくりきっかけは、本町で2年に一度開催される「長島造形美術展」です。町内各公民館からよりすぐりの造形物が持ち込まれますが、その中で始めて石だけの造形物“石花”が展示され最優秀賞を受賞しました。

そこで、この作品を観光の目玉に出来ないかと考えた結果、長島一周の道路沿いの法面や空き地に整備することでより一層ドライブコースとなれば、観光客が長島に多くの時間滞在し、お土産や食事など経済効果が生まれることとなりました。

また、町発注工事のため施工業社は、造形物の作品となることで価値と評価が上がり、作品ごとに技術力とアイデア・デザイン力が向上し、長島町が推進する石積擁壁の施工技術（積みかたや石面の見方）もアップしました。



第1号の“石花”ダリア



“石花”ガザニア

「これからの道路維持管理」

国道・県道の一部は、管理者である鹿児島県からの権限委譲で除草作業を随時行っています。しかし、延長が長く草払いの面積も広いことから人件費と時間がかかり効率が良いとはいえません。

そこで、天然石をリサイクルした花壇を設置し、ボランティアや日常の管理から、景観性は向上するとともに雑草が生えにくくなり、維持管理が容易になっています。さらに平石で法面保護をすることで除草作業が不要になり、維持管理延長が縮減され作業中の事故防止と、除草作業で出ている枯れ草処分量の縮減にも貢献しています。また、道路下の土羽部についても、平石とコンクリートのすみ分け（見える場所と見えない場所）を行い、メンテナンスフリーを順次施工し、作業の軽減化を図りたいと思います。

このようなことから、雑草法面が減ることで道路の視野が広がり、車両の安全走行の向上にもなり、良い効果の派生になっています。今後も、長島の“石”財産を大切に生かしながら、公共工事の特性でもある雇用の場と経済循環を図るとともに、維持管理については効率と軽減化を図りながら長島の景観向上を目標としています。



景観と除草対策に配慮した石積み（改良工事）



景観と除草対策に配慮した石張り

「交流人口の増加」

長島町では、これまで述べたように「石積みと花の町」を合言葉に、「長島ぐるっと一周事業」と連携し、多くのイベントを開催しています。

交流人口を増やす施策として本町では、「春の花フェスタ」や「つわぶきウォーキング」、「すいせんウォーク」、「長島造形美術展」、「おさかな祭り」、「恵比寿市」など多彩であり、平成19年度と比較すると平成28年度には3倍以上の23万人が本町に訪れました。

そこで、今後は、鹿児島県からだけの観光客だけでなく半島を生かし、隣接する熊本県天草市（牛深町）からのフェリーアクセスを使った観光客の増加策を立てるとともに、地域創生で開設した本町役場にある旅行代理店と連携し長島に多くの人を訪れるような施策が必要と思われます。

また、長島の特産品や風光明媚な環境と日本一のブリ養殖産地の「鯨王」や「鯛王」、鹿児島県からブランド産地を受けている「赤土バレイショ」など“食のまち”として、新たなメニュー開発も行っています。

魅力ある“長島”を今後担っていく子供たちが、長島に生まれ育った自信と誇りを抱き続けるようさまざまな施策を打ち出し、チャレンジしていこうと思います。



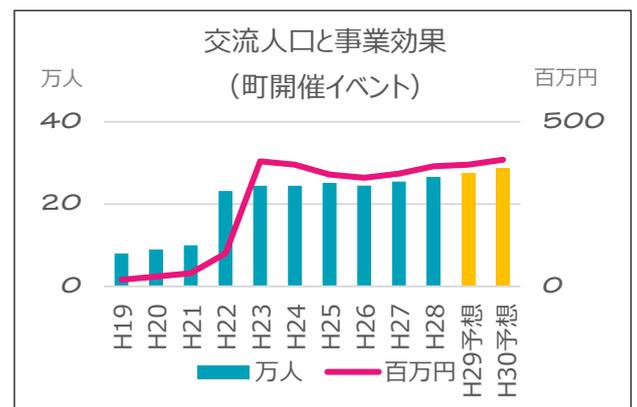
長島造形美術展会場内の作品



花フェスタ会場内の花ばな

「長島町景観事業に伴う表彰実績」

1. 南九州景観整備大賞 [平成21年度]
2. 全国花のまちコンクール優秀賞 [平成21年度]
3. 鹿児島県景観大賞 [平成23年度]
4. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 国土交通大臣賞 [平成27年度]



最後に、本町職員の「町民との約束」を紹介します。

- 一つ、笑顔とスピードで対応します。
- 一つ、出来ない理由ではなく、出来る方法を考えます。
- 一つ、全力で知恵を出します。知恵がなければ汗を出します。
- 一つ、町長のつもりで夢を描きます。実現に挑戦します。